



# **BranchCache対応のSMB共有の設定**

## **ONTAP 9**

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| BranchCache対応のSMB共有の設定            | 1 |
| BranchCache対応ONTAP SMB共有の設定について学ぶ | 1 |
| BranchCache対応のONTAP SMB共有を作成      | 1 |
| 既存のONTAP SMB共有でBranchCacheを有効にする  | 2 |

# BranchCache対応のSMB共有の設定

## BranchCache対応ONTAP SMB共有の設定について学ぶ

SMBサーバとブランチ オフィスでBranchCacheを設定したら、ブランチ オフィスのクライアントによるコンテンツのキャッシングを許可するSMB共有でBranchCacheを有効にすることができます。

BranchCacheキャッシングは、SMBサーバ上のすべてのSMB共有で有効にするか、共有ごとに有効にすることができます。

- 共有ごとにBranchCacheを有効にする場合は、共有の作成時にBranchCacheを有効にするか、既存の共有を変更することで有効にできます。

既存の SMB 共有でキャッシングを有効にすると、ONTAP はその共有でBranchCacheを有効にするとすぐにハッシュを計算し、コンテンツを要求しているクライアントにメタデータを送信し始めます。

- 共有への既存の SMB 接続を持つクライアントは、その共有でBranchCacheが後で有効になっても、BranchCacheサポートを受けられません。

ONTAPは、SMBセッションのセットアップ時に共有のBranchCacheサポートをアドバタイズします。BranchCacheが有効になったときに既にセッションを確立しているクライアントは、この共有のキャッシングされたコンテンツを使用するために切断してから再接続する必要があります。



SMB共有でBranchCacheがその後無効になった場合、ONTAPは要求元のクライアントへのメタデータの送信を停止します。データを必要とするクライアントは、コンテンツサーバ（SMBサーバ）から直接データを取得します。

## BranchCache対応のONTAP SMB共有を作成

共有を作成するときに`branchcache`共有プロパティを設定することで、SMB共有でBranchCacheを有効にすることができます。

### タスク概要

- SMB共有でBranchCacheを有効にする場合は、共有のオフライン ファイル設定を手動キャッシングに設定する必要があります。

これは、共有を作成するときのデフォルト設定です。

- BranchCacheが有効な共有を作成するときに、オプションの共有パラメータを追加で指定することもできます。
- BranchCacheがストレージ仮想マシン（SVM）上で設定および有効化されていない場合でも、共有に`branchcache`プロパティを設定できます。

ただし、共有でキャッシングされたコンテンツを提供するには、SVMでBranchCacheを設定して有効にする必要があります。

- `-share-properties` パラメータを使用する場合、共有に適用されるデフォルトの共有プロパティはないため、`branchcache`共有プロパティに加えて、共有に適用する他のすべての共有プロパティをコンマ区切りのリストを使用して指定する必要があります。
- `vserver cifs share create` の詳細については、["ONTAPコマンド リファレンス"](#)を参照してください。

## 手順

- BranchCache対応SMB共有を作成します：+ vserver cifs share create -vserver *vserver\_name* -share-name *share\_name* -path *path* -share-properties branchcache[,...]
- `vserver cifs share show`コマンドを使用して、SMB共有にBranchCache共有プロパティが設定されていることを確認します。

## 例

次のコマンドは、SVM vs1上で `/data` のパスを持つ「`data」 という名前のBranchCache対応SMB共有を作成します。デフォルトでは、オフラインファイル設定は `manual` に設定されています：

```
cluster1::> vserver cifs share create -vserver vs1 -share-name data -path /data -share-properties branchcache,oplocks,browsable,changeNotify

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name data
          Vserver: vs1
          Share: data
          CIFS Server NetBIOS Name: VS1
          Path: /data
          Share Properties: branchcache
                           oplocks
                           browsable
                           changeNotify
          Symlink Properties: enable
          File Mode Creation Mask: -
          Directory Mode Creation Mask: -
          Share Comment: -
          Share ACL: Everyone / Full Control
          File Attribute Cache Lifetime: -
                           Volume Name: data
                           Offline Files: manual
          Vscan File-Operations Profile: standard
```

## 関連情報

[单一の共有でBranchCacheを無効にする](#)

## 既存のONTAP SMB共有でBranchCacheを有効にする

既存の SMB 共有で BranchCache を有効にするには、既存の共有プロパティのリストに `branchcache`共有プロパティを追加します。

## タスク概要

- SMB共有でBranchCacheを有効にする場合は、共有のオフライン ファイル設定を手動キャッシングに設定する必要があります。  
既存の共有のオフライン ファイル設定が手動キャッシングに設定されていない場合は、共有を変更して設定する必要があります。
- BranchCacheがストレージ仮想マシン（SVM）上で設定および有効化されていない場合でも、共有に`branchcache`プロパティを設定できます。  
ただし、共有でキャッシングされたコンテンツを提供するには、SVMでBranchCacheを設定して有効にする必要があります。
- `branchcache`共有プロパティを共有に追加すると、既存の共有設定と共有プロパティが保持されます。

BranchCache 共有プロパティが既存の共有プロパティのリストに追加されます。"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"の`vserver cifs share properties add`の詳細をご覧ください。

## 手順

1. 必要に応じて、オフライン ファイルの共有設定を手動キャッシングに設定します。
  - a. `vserver cifs share show`コマンドを使用して、オフライン ファイルの共有設定を確認します。
  - b. オフライン ファイルの共有設定が手動に設定されていない場合は、必要な値に変更します：  
`vserver cifs share modify -vserver vserver_name -share-name share_name -offline-files manual`
2. 既存の SMB 共有で BranchCache を有効にする：  
`vserver cifs share properties add -vserver vserver_name -share-name share_name -share-properties branchcache`
3. SMB 共有に BranchCache 共有プロパティが設定されていることを確認します：  
`vserver cifs share show -vserver vserver_name -share-name share_name`

## 例

次のコマンドは、SVM vs1 上のパス `/data2`を持つ「`data2`」という名前の既存の SMB 共有でBranchCacheを有効にします：

```

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name data2

          Vserver: vs1
          Share: data2
CIFS Server NetBIOS Name: VS1
          Path: /data2
Share Properties: oplocks
                  browsable
                  changenotify
                  showsnapshot
Symlink Properties: -
File Mode Creation Mask: -
Directory Mode Creation Mask: -
Share Comment: -
Share ACL: Everyone / Full Control
File Attribute Cache Lifetime: 10s
          Volume Name: -
Offline Files: manual
Vscan File-Operations Profile: standard

cluster1::> vserver cifs share properties add -vserver vs1 -share-name
data2 -share-properties branchcache

cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name data2

          Vserver: vs1
          Share: data2
CIFS Server NetBIOS Name: VS1
          Path: /data2
Share Properties: oplocks
                  browsable
                  showsnapshot
                  changenotify
                  branchcache
Symlink Properties: -
File Mode Creation Mask: -
Directory Mode Creation Mask: -
Share Comment: -
Share ACL: Everyone / Full Control
File Attribute Cache Lifetime: 10s
          Volume Name: -
Offline Files: manual
Vscan File-Operations Profile: standard

```

## 関連情報

- 既存の共有の共有プロパティを追加または削除する
- 単一の共有でBranchCacheを無効にする

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。